[様式1]

# 令和2年度　部局経営方針

<table>
<tr><td colspan="2">部局名</td><td>農林水産部</td><td>部局長名</td><td>児玉　貴</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">部局の経営資源</td><td colspan="2">職　員　数　（人）</td><td colspan="2">現計予算額　（千円）</td><td>令和2年度中に策定した計画　（根拠法令等）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">正　職　員</td><td>32</td><td>一般会計</td><td>1,694,434</td><td rowspan="7">地域再生計画　人と自然の地域力！「木」が「喜」になるまちづくりプロジェクト（地域再生法）</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">特別会計</td><td></td></tr>
<tr><td>再任用職員</td><td>3</td><td colspan="2">前年度繰越額（千円）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">会計年度<br>任用職員</td><td rowspan="2">4</td><td>一般会計</td><td>30,308</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特別会計</td><td></td></tr>
<tr><td>任期付職</td><td>4</td><td></td></tr>
</table>

**総合計画に基づく部局の経営戦略**

（1）新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち
①担い手の育成・確保のために、認定農業者、新規就農者や集落営農組織等の育成を図ります。
②農業経営安定のために、高収益作目の選定や施設等の導入支援、農地の集積・集約化を推進するとともに、有害鳥獣対策の強化を図ります。
③県内全域へ産地が拡大された「へべす」県内外での販促活動を強化し、知名度向上を図るとともに、「へべす発祥の地」としてのブランド確立に努めます。
④薬草については、新規生産者を確保し、栽培可能となった品目について試験栽培から本格栽培への移行に取り組みます。併せて、新たな販路の確立と新商品の開発に取り組みます。
⑤畜産業振興のために、家畜防疫体制の強化や優良家畜の導入に対する支援を行うとともに自給飼料増産による経営基盤の強化と生産性向上に努めます。
⑥農村環境の維持と生産基盤の整備拡充に努めます。
⑦持続的で安定した漁業経営の実現のために、経営基盤の強化、担い手への支援、細島いわがきのブランド化及び水産資源の保護増殖に努めます。
⑧資源循環型林業による持続可能な林業経営の実現のために、生産基盤の整備や林業担い手の確保に努めます。
⑨森林の公益的機能の維持・増進及び持続可能な林業経営の実現のために、森林環境譲与税を活用し、適正な森林の経営管理の推進及び林道等の路網改良に努めます。
⑩新たなブランド品目として期待されている「オリーブ」や「ブルーベリー葉」については、生産者と連携して研究を行いながら、生産拡大と販路の確保に努めます。
⑪農商工連携や六次産業化を検討している農業者に対し、関係機関と連携しながら、指導・助言等による取組を支援して行きます。

（2）快適で魅力ある機能的な住みやすいまち
土地の有効利用・保全や固定資産税の負担の適正化などを図るため、計画的な地籍調査を推進します。

（3）市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち
ふるさと納税の返礼品等の充実・拡大に取り組むとともに、寄附者の賛同を得られる情報発信を行い、自主財源の確保を図ります。

総合計画に基づく部局の経営戦略

【成果と課題】

（1）新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち
①担い手の育成・確保対策として、就農希望者及び新規就農者に対し、農業研修や農地の斡旋等の支援を行いました。また、認定農業者に対しては、コロナ禍により例年実施している全戸訪問を中止しましたが、情報誌の発行による各種事業や制度資金の活用促進など、経営改善計画の達成に向けた支援を行いました。近年、新規就農相談が増加傾向にあることから、関係機関と連携し、細やかな支援を行うことにより、新規就農者の確保を図る必要があります。

②農業経営安定対策として、農業用ハウス1.1haの強靭化に対する支援や、農地中間管理機構と連携し、9.8haの農地を担い手へ集積しました。また、有害鳥獣対策として、侵入防止柵約37.5kmの整備や、捕獲班によるシカ、イノシシ、サル等の捕獲活動により、個体数を3,182頭（羽）減少させるなど、被害軽減に向けた取組を行いました。さらに、コロナ禍で売上が減少した認定農業者等に応援給付金を給付し、営農継続を支援しました。農産物価格の低迷や燃油・資材の高騰に加え、新型コロナの影響の長期化など、依然として厳しい経営環境にあることから、低コスト化や鳥獣被害の軽減など経営安定化を推進する必要があります。

③「へべす」については、コロナ禍によりPRイベントの実施が制限される中、オンラインを活用した料理イベントの実施や、英語版リーフレットの作成、レシピ本の販売など情報発信に努めました。大手カフェチェーンのサンドイッチの食材に採用されるなど、都市圏での知名度が向上しており、今後も継続的に販売促進に取り組む必要があります。

④薬草については、熊本大学薬学部と東郷まちづくり協議会との連携により、今後本格生産すべき3品目を選定し、道の駅等にて販売しました。生産量を安定・増加させるためには、新たな販路拡大の取組が必要です。

⑤畜産については、家畜伝染病対策として全畜種農場に消毒用石灰を配布するとともに、牛異常産四種混合ワクチン予防接種を実施しました。また、生産性向上と産地競争力の強化を図るため、優良家畜の導入に係る経費の一部を支援しました。今後も、家畜防疫体制の強化や優良家畜の導入、自給飼料増産等により経営基盤強化と生産性向上を図る必要があります。

⑥富島幹線用水路について、機能保全計画に基づき改修工事を行いました。また、防災重点ため池については、耐震補強・補修等の整備に係る事業計画を策定するとともに、未作成の6箇所のため池についてハザードマップを作成しました。今後、防災重点ため池について事業計画に基づいた整備を行うとともに、老朽化の著しいその他の農業用施設についても、各種事業を活用した整備を図る必要があります。

⑦漁業経営の安定化のため、漁船保険料の助成や応援給付金の給付などを行いました。「細島いわがき」については、当初コロナ禍による販売減少の影響を受けましたが、メディアやネット通販の活用により出荷量が回復しました。また、ヒラメの稚魚放流やハマグリ生息状況調査などを行い、水産資源の保護増殖に努めました。

⑧林業施設等整備に係る補助により林業の生産基盤の充実を図るとともに、林業担い手の確保に向けたワークショップの開催や高校生向け教育プログラムの実施など、持続可能な林業経営実現のための取組を推進しました。

⑨森林環境譲与税を活用し、森林経営管理の意向調査及び航空レーザー計測による「森林経営管理制度支援システム」を導入し、森林の公益的機能の維持・増進と持続可能な林業経営の実現に向けた事業の推進に努めました。

⑩「オリーブ」など、新たなブランド品目の生産拡大については、本市に適した栽培技術の確立と他産地と差別化できる販売方法の確立が必要です。

⑪六次産業化への取組を検討している事業者に対し、県主催の研修会参加につなげたほか、各種相談対応を行いました。今後は、農業者単独で加工施設等を整備する六次産業化だけでなく、商工業者と連携した地域ぐるみの六次産業化への支援が必要です。

（2）快適で魅力ある機能的な住みやすいまち
地籍調査については、美々津地区及び迫野内地区の地権者及び管理者の協力を得て実施しました。今後も補助事業を活用し、地籍調査の進捗率の向上に努めます。

（3）市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち
ふるさと納税の寄附拡大と事業者の販路拡大のため返礼品の数を拡大し、新たなポータルサイトとして大手百貨店のサイトへの掲載を開始しました。また、寄附者確保のため返礼品事業者案内を返礼品に同梱したほか、寄附金の使い道について寄附者27,000人に報告するなど情報発信に取り組み、寄附金額6億500万円（前年度比95.4%）の実績となりました。今後も、ふるさと納税の返礼品の充実と情報発信により、自主財源の確保を図る必要があります。

[様式1-2]

# 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト　（　農林水産部　）

| 重点戦略 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 重点プロジェクト | | | | | | | | | |
| | | 基本目標 | 施　策 | 具体的な施策 | 予算事業名 | 所管課 | 令和2年度の主な取組内容 | 進捗状況 | 取組結果 | 成果説明書頁数 |
| 【重点戦略2】 活力を生み出すにぎわいづくり戦略　　若者が魅力を感じる活力に満ちたまちをつくります。 | | | | | | | | | | |
| | 2－2 元気と活力を生み出す“しごと”づくりプロジェクト | | | | | | 令和2年度の主な取組内容 | 進捗状況 | 取組結果 | 成果説明書頁数 |
| | | 3 産業振興 | 3-1 農業の振興 | ②地域資源を生かした特産物の振興 | へべす振興対策事業<br><br>日向地域のブランド確立推進事業 | ブランド推進課 | [取組内容]<br>産地拡大となった「へべす」の差別化を図り、発祥の地として販売力の強化に向けた取組を行います。<br>また、オリーブの病害虫対策にも支援を行い、安定生産を目指します。<br><br>[上半期]<br>・差別化販売に向けたPR資材を作成します。<br>・へべす収穫祭を開催します。<br>[下半期]<br>・苗木（へべす、オリーブ、ブルーベリー葉）の購入費用の助成を行います。 | 計画どおり | ・コロナ禍により、へべす収穫祭に変わるPRイベントとして、オンラインイベント「キッチハイク」にて、へべすを使った料理教室等を実施し、県外から42名の参加者を集客したほか、ドトールコーヒーの首都圏プレミアム3店舗にて、へべす入りサンドイッチを6/24～10/6まで2,506食を販売し、へべすの情報発信に努めました。<br>・へべすリーフレット（英語版）を作成したほか、レシピ本等を観光4駅等で販売しました。<br>・11名4,207本のへべす苗木購入補助を実施しました。 | 200・202 |
| | | | | | 薬草の里づくり事業 | ブランド推進課 | [取組内容]<br>新規生産者を確保し、栽培可能となった品目について試験栽培から本格栽培への移行に取り組みます。<br>併せて、新たな販路の確立と新商品の開発に取り組みます。<br><br>[上半期]<br>・新製品の販売に向けて、試作品の開発に取り組みます。<br>・新たな販売形態について研究します。<br>[下半期]<br>・薬膳の提供、販売に向けて取り組みます。<br>・民間と協力して薬草観察会を開催します。 | 遅れ | ・カモミール、ホーリーバジル、ハトムギ等の薬草の試験栽培を継続し、収穫品目を市内道の駅や民間事業者に販売しました。<br>・薬草観察会や薬膳開発に関する情報交換については、コロナ禍により中止しました。 | 201 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 3<br>産業振興 | 3-2<br>林業・木材産業の振興 | ①生産基盤の整備 | 林業成長産業化地域創出モデル事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>地域構想に基づき、①再造林の推進、②担い手の確保、③森林資源の利活用、④普及啓発の推進に係る各種事業に取り組みます。<br>[上半期]<br>・一貫作業システム普及に向けた森林パトロールによる指導及び現地研修会を開催します。<br>[下半期]<br>・森林組合において、林業体験ツアーを開催します。<br>・体験学習会やワークショップ等の高校生向け教育プログラムを実施します。<br>・鋸目立て職人養成に向け、工場の設置検討会や研修会を開催します。 | その他 | ・一貫作業システム普及に向けた森林パトロールについては伐採パトロールを兼ねて実施しました。<br>・森林組合における林業体験ツアーについては、リモートによるワークショップ（デザインシンキング）を開催し、林業への理解と魅力を発信することができました。<br>・体験学習会やワークショップ等の高校生向け教育プログラムを実施することで、意識の啓発を図り、林業への理解と就業の促進を図りました。<br>・鋸目立て職人養成については、関係団体と協議を重ねました。 | 180 |
| | | | | ④森林資源の保全と活用 | 森林づくり推進事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>再造林に対する露地苗造林補助（100千円以内/ha）とスギコンテナ苗木造林補助（120千円以内/ha）を行います。<br><br>[上半期]<br>・伐採届出書の受付や伐採パトロールを通じて再造林を推進します。<br>[下半期]<br>・森林整備事業の完了後、森林組合からの申請を受け付けます。 | 完了 | ・年2回（1回はコロナ禍により中止）の伐採パトロールを実施し、再造林率の向上及び災害の防止に向けた指導を行いました。<br>・国土保全造林事業補助金として、再造林に対する上乗せ補助を実施し、林業の低コスト化・省力化、森林資源の循環利用の促進に努めました。<br>補助対象面積＝37.93ha | 185 |
| | | | 3-3<br>水産業の振興 | ②漁業の経営基盤強化 | 漁業振興育成事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>「細島いわがき」のブランド確立・生食出荷のための支援、漁船保険料の助成及び各種利子助成、新規就業者への支援により、漁業経営の安定化及び水産業の振興を図ります。<br><br>[上半期]<br>・年間を通して、生産体制の拡充や販路拡大に向けた取組を継続します。<br>・岩ガキの生食用出荷に向けた支援を継続します。<br>・新規就業者への支援に取り組みます。<br>[下半期]<br>・漁船保険料や共済掛金の助成及び各種利子助成に係る漁協からの申請受付を実施します。<br>・新規就業者への支援に取り組みます。 | 計画どおり | ・岩ガキの生食出荷に向けた衛生検査の支援を行いました。<br>・販路拡大への取組では、コロナ禍による各種イベントの中止等により、出荷量が一時激減しましたが、メディアやネット通販等の活用により、持ち直しました。<br>・各種補助金・助成金については、漁協を通じて支援を行いました。<br>・新規就業者への支援については、該当がありませんでした。 | 196 |

[様式1-3]

# その他に取組む重点事業

（ 農林水産部 ）

| 基本目標 | 施　策 | 具体的な施策 | 予算事業名 | 所管課 | 令和2年度の主な取組内容 | 進捗状況 | 取組結果 | 成果説明書頁数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>産業振興 | 3－1<br>農業の振興 | ①担い手の育成・確保 | 農業応援給付金事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>コロナ禍で、売上が減少している認定農業者・認定新規就農者の営農継続を支援します。<br><br>[上半期]<br>・8月31日まで、申請を受け付け、給付金を給付します。 | 完了 | 令和2年1月から12月のいずれかひと月の売上が前年同月比で30%以上減少した認定農業者及び認定新規就農者に対し、給付金を支給しました。<br>. 支給総額：9,400千円<br>（200千円×47経営体） | 461 |
| | | | インドア花いっぱい事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>コロナ禍で、売上が減少している花卉農家の営農継続を支援します。<br><br>[下半期]<br>・10月に、地元産花卉を市内の施設に飾り、花卉の消費拡大を促します。 | 計画どおり | 10月に公共施設等82箇所において切り花の装飾を行いました。<br>事業費：1,219千円<br><br>10月と2月に日向市役所ロビー及び日向市駅にフラワーディスプレイを展示しました。<br>事業費：780千円<br><br>なお、下記については、令和3年度に繰り越して、取り組みます。<br>・公共施設等105箇所における切り花の装飾<br>事業費：1,097千円<br>・小中学校入学式18校（4月）及び成人式におけるフラワーディスプレイの展示<br>事業費：2,903千円 | 462 |
| | | ③経営安定対策の推進 | 農地中間管理事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>鵜毛・籾木地区について、前年度にほ場整備事業が完了した籾木地区6．0haの集積・集約を図るとともに、百町原地区を重点実施地区にを追加し、農地調査に着手します。<br><br>[上半期]<br>・籾木地区：農地調査、出し手、受け手の掘り起しを行います。<br>・百町原地区：地権者、耕作者に対し、事業内容の周知を図ります。<br>[下半期]<br>・籾木地区：12月までに利用権設定を行います。<br>・百町原地区：出し手、受け手を把握するための農地調査に着手します。 | 計画どおり | 集積実績<br>・籾木地区：6.0ha<br>・本谷・西川内地区：3.2ha<br>・百町原地区は、令和3年度に繰り越し、出し手・受け手を把握するための農地調査を行います。 | 363 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>産業振興 | 3－1<br>農業の振興 | ④畜産業の振興 | 家畜防疫推進事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>経済的損失の大きい家畜伝染病等の衛生防疫対策と合わせて、新たな異常産ウイルス対策として牛異常産四種混合ワクチンへの移行を行い支援します。<br><br>[上半期]<br>・牛異常産種四混合ワクチン予防接種事業を実施します。<br>[下半期]<br>・牛異常産四種混合ワクチン予防接種事業を実施します。<br>・消毒用消石灰を配布します（養鶏場、養豚場、養牛農場）。 | 計画どおり | ・牛異常産四種混合ワクチン予防接種<br>771頭<br>・消毒用消石灰配布<br>2,570袋 | 173 |
| | | | 生産性向上対策事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>優良家畜の導入をすることで、高品質な畜産物の生産を行い産地間競争力と経営基盤強化を図るため導入経費の一部を支援します。<br><br>[上半期]<br>・支援頭数　優良雌牛60頭、優良母豚70頭<br>[下半期]<br>・支援頭数　優良雌牛60頭、優良母豚70頭 | 計画どおり | 優良家畜の導入経費に対して支援を行いました。<br>牛：151頭<br>豚：170頭 | 172 |
| | | ⑤農村環境の維持と生産基盤の整備 | 富島幹線用水路整備事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>富島幹線用水路の機能保全計画に基づき、改修工事を行います。<br><br>[上半期]<br>・宮崎県企業局と工業用水からの給水に関する協議を行います。<br>・改修工事に契約を締結します。<br>[下半期]<br>・12月に工業用水からの給水を開始するとともに、3月末までに工事を完了します。 | 計画どおり | ・9月までに県企業局と工業用水給水に関する協議を行いました。<br>・11月に改修工事の契約及び県企業局と覚書きを締結し、令和3年3月に工事完成しました。 | 179 |
| | 3－2<br>林業・木材産業の振興 | ①生産基盤の整備 | 横瀬・広瀬線林道改良事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>横瀬・広瀬線の開設を行います。（L＝60m、W＝4.0m）<br>新規の地域再生計画（R3～R7計画）を策定します。<br><br>[上半期]<br>6月までに令和2年度工事を発注します。<br>新規地域再生計画の事前協議を行います。<br>[下半期]<br>11月までに令和2年度工事を完了します。<br>3月までに新規地域再生計画の認定を受けます。 | 計画どおり | 令和2年度の横瀬・広瀬線の開設工事は、7月に完了しました。<br>新規地域再生計画の認定を3月に受け、引き続き国の補助事業を活用して同路線の開設事業を行う体制を確立しました。 | 187 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>産業振興 | 3－2<br>林業・木材産業の振興 | ①生産基盤の整備 | 林道施設長寿命化対策事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>林道橋梁長寿命化修繕計画に基づき、2橋の橋梁の補修工事を行うとともに、次年度以降の対象橋梁の事前協議を行います。<br><br>[上半期]<br>９月までに補修工事の設計等を行うとともに、次年度以降の補修対象橋梁の事前協議を進めます。<br>[下半期]<br>１０月に補修工事を発注し3月までに完了させます。 | 計画どおり | 林道橋梁長寿命化修繕計画に基づく2橋の橋梁の補修工事が12月に完了しました。<br>国有林事業者と共同管理している路線内にある橋梁の管理・補修に関し、関係機関と今後の方向性の確認を行いました。 | 190 |
| | | ④森林資源の保全と活用 | 森林経営管理制度事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>航空レーザー測量による森林資源情報の解析・補完をもとに森林経営管理制度を円滑に実施するためのシステムを導入します。<br><br>[上半期]<br>・9月までにプロポーザル方式による業者決定を行います。<br>[下半期]<br>・3月までにシステム導入を完了します。 | 計画どおり | プロポーザル方式による業者決定後、WEB会議により打合せを行いながら、計画どおりシステム導入が完了しました。 | 199 |
| | | ④森林資源の保全と活用 | 森林づくり推進事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>森林所有者や林業事業者への意見の聞き取りを行い再造林の推進に向けた検討を行います。<br><br>[上半期]<br>・9月までに森林所有者や林業事業者への意見の聞き取りを行います。<br>[下半期]<br>・3月までに再造林推進のための施策を検討します。 | 計画どおり | 森林所有者や林業事業者に対するアンケート調査を実施し、再造林に取り組む意識調査を実施しました。アンケート結果については、日向市資源循環型林業推進協議会でも共有しました。<br>・森林所有者　190名<br>・林業事業者　19者<br>・アンケート回答率　68.42% | 185 |
| | 3－3<br>水産業の振興 | ①水産資源を守り増やす取組の推進 | 魚貝類放流事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>日向市漁協が実施するヒラメの稚魚放流事業に係る種苗費に対して補助を行う。<br><br>[上半期]<br>・5月に日向灘沖で放流を実施<br>[下半期]<br>・次年度以降の放流計画の協議 | 計画どおり | コロナ禍の影響もあり、時期を6月に変更し、細島港沖と美々津港沖で、ヒラメの稚魚33,000尾の放流を行いました。<br>また、関係団体で協議を行い、次年度の放流計画を策定しました。 | 194 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>産業振興 | 3－3<br>水産業の振興 | ②漁業の経営基盤強化 | 水産業応援給付金給付事業 | 林業水産課 | [取組内容]<br>・新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が大きく減少し、経営が厳しくなっている日向市漁業協同組合に所属する漁業経営体に給付金を支給することで、事業の継続を支援します。<br><br>[上半期]<br>・5月の臨時議会で予算化し、5月11日から8月31日までの期間、水産業応援給付金申請を受付します。 | 完了 | コロナ禍の影響が長引いたため、期間を令和3年1月29日まで延長し、影響を受けた漁業経営体に対し、給付金の支給を行いました。 | 465 |
| 4<br>生活環境 | 4－2<br>防災体制の充実 | ①災害防災対策の推進 | 農業地域防災減災事業 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>防災重点ため池の整備を行うため、事業計画策定を行います。また、2箇所のため池について、ハザードマップを作成します。<br><br>[上半期]<br>・事業計画策定に係る業務委託を6月までに契約締結します。<br>[下半期]<br>・12月までに関係機関協議を終え、3月末までに事業計画策定を完了します。<br>・3月までにハザードマップを作成し、地元区に説明を行います。 | 完了 | ・防災重点ため池の整備に係る事業計画策定業務を5月に契約締結し、令和3年2月に完了しました。<br>・ハザードマップ作成については、当初予定の2箇所から、6箇所のため池にかかるハザードマップを作成しました。これにより、防災重点ため池全てのハザードマップの作成が完了しました。 | 175 |
| 6<br>地域経営 | 6－5<br>未来につなげる財政運営 | ②自主財源の確保 | ふるさと日向市応援寄附金事業 | ブランド推進課 | [取組内容]<br>ふるさと納税制度の趣旨を尊重しながら、返礼品等の充実・拡大に取り組むとともに、ポータルサイトにおける効果的な情報発信などを行い、寄附者の増加とリピーター確保に取り組みます。<br><br>[上半期]<br>・新たなポータルサイトを開設し、返礼品事業者の販路獲得につなげます。<br>・コロナ禍で中止になった返礼品事業者連絡会に代わる事業者間の情報交換の場を創出し、活性化に努めます。<br>[下半期]<br>・寄附金の使い道について寄附者や市民に報告します。<br>・コロナ禍で中止になった返礼品事業者連絡会に代わる事業者間の情報交換の場を創出し、活性化に努めます。 | 計画どおり | ・三越伊勢丹ふるさと納税への掲載を令和2年7月15日に開始し、寄附拡大と販路拡大に取り組みました。<br>・例年開催している返礼品事業者連絡会は、コロナ禍により書面開催や東京の講師、市内各事業者及び日向市三者のリモート形式で3回開催しました。<br>・寄附者に対し「使い道のご報告」を27,000通送付し、寄附金の使途に関する情報発信を行いました。<br>・返礼品事業者案内を10,000部作成し、返礼品に同梱することで販路拡大に取り組みました。 | 203 |

[様式1-4]

# 行財政改革大綱に基づく行動計画

（ 農林水産部 ）

| 大区分 | 中区分 | 小区分<br>（実施項目） | 所管課 | 令和2年度の主な取組内容 | 進捗状況 | 取組結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 地域経営の推進 | 1. 市民にわかりやすい市政情報の発信 | 1. 情報発信の充実 | ブランド推進課 | [取組内容]<br>薬草観察会は、令和2年度までは市の主催で行うため、継続した情報発信を行います。<br><br>[上半期]<br>・新製品のPRのため、広報誌への掲載やメディアへの情報発信を行います。<br>[下半期]<br>・10月予定の薬草観察会の開催を市の広報誌等で告知します。 | その他 | 5月・10月に2回開催予定していた薬草観察会については、コロナ禍より中止しましたが、へべすについては、MRTラジオにて冠番組の放送やHPにて情報発信を行ったほか、首都圏カフェとの新商品開発や県福岡事務所と協働で「みやざきへべすフェア」を開催し、積極的な情報発信に努めました。 |
| 3. 持続可能な財政基盤の強化 | 1. 経営視点に立った財政運営 | 28② 日向青果地方卸売市場(株)の経営健全化 | 農業畜産課 | [取組内容]<br>平成30年11月に解散した日向青果地方卸売市場(株)について清算手続きを進めます。<br><br>[下半期]<br>11月までに日向青果地方卸売市場(株)所有の市場跡地（土地・建物）を売却し、清算を結了します。 | 遅れ | 市場跡地について、年間を通して、複数事業所と交渉を行いましたが、売却がかなわず、清算結了に至っていない状況です。<br>令和3年度も引き続き、売却に向けた取組を行います。 |
| | 2. 自主財源等の歳入確保 | 33 ふるさと日向市応援寄附金事業の拡充 | ブランド推進課 | [取組内容]<br>返礼品を扱う事業者の協力を得ながら、本市特産品を全国に発信し、寄附者の増加と寄附額の増大に努めます。<br><br>[上半期]<br>・新たなポータルサイトを開設します。<br>・返礼品及び返礼品事業者に関するチラシを作成し、寄附者に本市の魅力を周知します。<br>[下半期]<br>・ワンストップ特例申請業務や電話対応業務の外部委託により、寄附募集業務の充実と寄附金額の増加を図ります。<br>・寄附金の使い道の報告を行うことで、広報活動の充実につなげます。 | 計画どおり | ・三越伊勢丹ふるさと納税への掲載を令和2年7月15日に開始し、寄附拡大と販路拡大に取り組みました。<br>・返礼品事業者案内を10,000部作成し、返礼品に同梱することで販路拡大に取り組みました。<br>・ワンストップ特例申請業務や電話問合せ受付業務を外部委託し、返礼品開発等の業務に重点的に取り組んだ結果、事業者及び返礼品の数を、令和元年度末45者、200品目から、令和2年度末には72者315品に増やすことができました。<br>・寄附者に対し「使い道のご報告」を27,000通送付し、寄附金の使途に関する情報発信を行いました。 |

部局経営方針に掲載されていなかった新型コロナ対策事業等の取組

| 予算事業名 | 事業内容 | 進捗状況 | 取組結果 | 成果説明書頁数 |
|---|---|---|---|---|
| [新型コロナ対策]森林づくり推進事業<br>（林業水産課） | 新型コロナウィルス感染拡大の影響等による原木の出材調整に伴う林業の雇用維持・確保に資する森林整備（除伐）を行う者に対する事業補助 | 完了 | 県の原木の出材調整に伴い、林業の雇用維持・確保に資する森林整備（除伐）を行う者に対し、上乗せ補助を行いました。<br>補助対象面積＝46.56ha | 463 |
| [新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(農畜産物・水産物)<br>（農業畜産課）<br>（林業水産課） | 新型コロナウイルスによる農林水産業への影響を緩和するため、県産農畜水産物を市内小中学校に提供し、食育を通じ農林水産業への理解を醸成するとともに、中長期的な消費拡大を図る。 | 完了 | 県の事業を活用し、学校給食に県産農畜水産物を提供することで、農林水産業への影響を緩和し、食育による県産品への理解醸成を図りました。 | 462・464 |
| [新型コロナ対策]養殖経営緊急支援事業<br>（林業水産課） | コロナ禍により、経営が厳しい状況にある養殖業者の掛かり増し経費の一部を補助することで、養殖経営の維持・安定を支援する。 | 完了 | 対象となる市内養殖業者に対し補助金の交付を行い、養殖経営の維持・安定を支援しました。 | 464 |
| [新型コロナ対策雇用型漁業労働力安定確保対策事業<br>（林業水産課） | コロナ禍により、外国人材が入国後に要請される経過観察措置に係る追加的な費用の一部を補助することで、漁業経営の安定を支援する。 | その他 | コロナ禍の影響が長引いたことにより、外国人漁業実習生の入国が出来ず未実施でした。 | － |